



議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

9月定例会



祝 全国大会第3位 東北大会優勝!!

目次

- 2～3 … 9月定例会・主な財政指数など
- 4～9 …………… 一般質問
- 10 …………… 決算特別委員会審議
- 12 … 提出議案結果報告・条例・臨時会
 全員協議会・はちらぼ調査特別委員会
- 13 …………… 各常任委員会の審議
- 14 … 私たち頑張っています! / 議会のうごき / 編集後記



(写真は東北大会より)

令和3年度
決算認定

大型予算の執行を適正と認定!!

一般会計

実質収支額(黒字) **2億53万9,476円**

- 歳入総額 44億9,565万2,864円
- 歳出総額 42億8,518万9,848円
- 差引額 2億1,046万3,016円
- 翌年度繰越財源 992万3,540円

歳出の主なもの (千円未満四捨五入)

総務課関係

- ・新庁舎建設工事(令和3年度分) **9億2,026万8千円**
- ・湖東厚生病院運営費補助金 **1,084万1千円**
- ・八郎潟土地改良区事務所整備費補助金 **1,125万4千円**

町民課関係

- ・結婚祝い金事業(4組) **40万円**
- ・出産祝い金事業(15人) **45万円**
- ・ハザードマップ作成業務委託料 **114万2千円**
- ・防災行政無線外子局改良工事 **2,310万円**

福祉課関係

- ・社会福祉協議会事務局職員設置費補助金 **1,841万3千円**
- ・介護保険特別会計繰出金 **1億4,730万2千円**
- ・施設型給付費(認定こども園運営給付費) **1億1,527万7千円**

保健課関係

- ・福祉医療費 **4,979万2千円**
- ・各種予防接種委託料 **2,923万1千円**
- ・総合検診委託料 **1,276万7千円**

産業課関係

- ・移住支援助成金(7世帯19名) **47万4千円**
- ・Hachi LAB補助金 **1,950万円**
- ・湛水防除事業負担金 **1,363万7千円**
- ・高岳地区ほ場整備事業費負担金 **3,042万2千円**
- ・多面的機能支払交付金 **3,174万5千円**

建設課関係

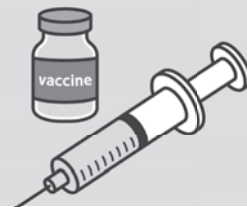
- ・除雪委託料 **1,642万4千円**
- ・ふれあいロード橋補修工事委託料(JR委託工事分) **294万8千円**
- ・ふれあいロード橋補修工事 **2,653万3千円**
- ・街灯管理事業 **921万2千円**

教育課関係

- ・通学児童バス定期券購入補助金 **146万1千円**
- ・スクールバス管理運営費 **285万6千円**
- ・学校給食費助成金(無料化) **1,564万5千円**

主な新型コロナウイルス関連事業

- ・新型コロナウイルス対策生活応援事業地域商品券交付金 **1,426万9千円**
- ・新型コロナウイルス対策住民税非課税世帯臨時特別給付金 **7,120万円**
- ・ホームページリニューアル業務委託料 **1,045万円**
- ・地域商品券交付金(町内事業所のみ利用可能) **5,460万5千円**
- ・オリンピック記念会館トイレ等改修工事 **1,080万5千円**



主な財政指数

◆財政の分析

単位：％

	3年度	2年度	比較
経常収支比率※1	83.1	88.5	△ 5.4
実質収支比率※2	8.6	10.7	△ 2.1
公債費比率※3	7.8	8.5	△ 0.7
実質公債費比率※4	11.7	11.8	△ 0.1

※1 財政のゆとりを見る指標。75%を上回らないことが望ましい。

※2 純粋な収支を見るための指標。3～5%程度が望ましい。

※3 公債費と一般財源の関係を見る指標。10%を超えないことが望ましい。

※4 収入に対する地方債返済の割合を見る指標。18%以上になると県の許可が必要。

◆基金残高

	3年度	2年度	差引
地域振興施設整備基金	50,191	50,190	1
財政調整基金	2,368,720	2,403,289	△ 34,569
奨学基金	14,217	12,162	2,055
減債基金	99,455	99,453	2
地域福祉基金	70,200	70,198	2
まちづくり人材育成基金	4,126	4,125	1
国保財政調整基金	100,001	100,001	0
ふるさと保全対策基金	5,000	5,000	0
八郎潟町がんばれふるさと基金	15,294	14,732	562
介護給付費準備基金	22,694	19,694	3,000
森林環境譲与税基金	4,226	2,547	1,679
公共施設解体基金	7,601	2,600	5,001
合 計	2,761,725	2,783,991	△ 22,266

※年度末現金保有高

◆各特別会計の決算

単位：千円

	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	929,565	743,196	186,369
後期高齢者医療特別会計	84,207	82,476	1,731
公共下水道事業特別会計	305,340	300,594	4,746
介護保険特別会計			
介護保険事業勘定	993,039	949,008	44,031
介護保険サービス事業勘定	4,486	4,486	0

議案第32号

補正予算

令和4年度八郎潟町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出に、それぞれ1億841万7千円を追加し、予算総額を38億6,360万5千円としております。

〈主なもの〉

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	44,266千円
地域経済循環創造事業交付金返還金	13,092千円

歳出

地域商品券交付金	54,500千円
（町内事業所に使用を限定した1人あたり1万円の商品券をすべての町民へ交付するもの）	
国庫支出金返還金	13,093千円
（じゅんさいプラント栽培事業廃止による）	
図書購入費	500千円
（石井商事株式会社様からの寄附金）	



9月定例会 一般質問

5議員が町政に対し質問

9月8日の本会議において一般質問が行われ、5議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

◆ 質問者

村井 剛 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、中羽立踏切冬期通行止に関し、町としてもJRに対し、反対の申し入れを願う！
- 2、各界で活躍し、国・県等での表彰者も町の表彰式にて紹介し、共に祝ってあげてはと思うが！

加藤千代美 議員 (一問一答)

- 1、町の食料自給率と作物の作付バランスについて
- 2、中友商事について
- 3、八郎潟町環境保全会補助金について

小柳 聡 議員 (一問一答)

- 1、支援や助成の在り方とは
- 2、ふるさと納税返礼品の開拓は
- 3、物価高による給食への影響は

柳田 裕平 議員 (一問一答)

- 1、町内会の区域制について
 - (1) なぜ、町主導での取り組みは難しいのでしょうか
 - (2) 第6次基本計画・実施計画の協議ではどのように
 - (3) 新たに調査特別懇談会を設置してはどうか

金 一義 議員 (一問一答)

- 1、八郎潟町脱炭素型社会構築事業について
 - (1) 旧八郎潟小学校敷地に、イチゴ栽培にもみ殻ボイラー使用について
 - (2) イチゴ栽培事業実現と課題解決の方向性について
 - (3) 公有地・公共施設を中心とした、町内農地を活用した太陽光発電事業の拡大について

一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一般質問

“中羽立踏切通行止”に町としても 反対の申し入れを!



剛 村井 議員

6月28日、JRより“中羽立踏切冬期通行止”の文書が配布された。その後、町広報7月号に“同通行止のお願い”の記事。“町として、地域内に説明もなく同意したのか”と誰もが思い至った。

問 数年前、アクセス道延伸関連で、中羽立踏切廃止”の話があった。この延伸(平面交差)との関連であれば、受け入れの余地があるが、この度の通行止に関する経緯を問う。

町長 JRによると、“踏切の幅が狭く、道路が斜めに交差している所で、全国的に事故が多発している。踏切事故を減らす安全対策として、中羽立踏切がその対象となった。将来的には、廃止も視野に入れ、試験的に冬期通行止を実施したい。”との事でした。アクセス道平面交差延

伸計画では、中羽立踏切廃止が視野に入れられていたが、運輸局との協力で要件が合致しない事から断念している。この度の通行止との関連はない。

問 去る7月21日、農村環境改善センターにおいて、JRによる説明会が開催された。この説明会での発言と通行止に関する問題点をあげる。

①この踏切は、小・中学生にとって、学校に近くきわめて安全な通学路である。
②他の利用者の日常生活において人の流れに逆行する不便な町内となる。特に、車を運転出来ない老人は困惑する。
③迂回路となる道路は狭く、冬期には、トラブルのある路線で、今後、人身事故が多発する。

④町内が2分され、コミユニティ形成に支障をきたす。
⑤明治35年、一日市々能代間が開通し、120年。その間、他町内の人々の脱輪事故1件。その責めを現利用者に向かわせるのは酷である。

⑥踏切の安全対策が、即

“通行止”とは、あまりにも短絡的である。⑦町の宅地分譲において、アクセス道の延伸により、利便性が一層増す”とのふれこみであった。価格は高かったが、将来に期待し移り住んだ。踏切の通行止は、それに反する。

⑧中羽立踏切の廃止問題は、55年程前に昼根下踏切と共に提起され、昼根下踏切廃止で決着済みである。今後、全面廃止が予想され、受け入れられない。

⑨踏切前後の道路が、少しの改良で、一層安全に通行できる。迂回路における交通事故の補償問題が発生する。

⑩明治30年頃、鉄道の布設にあたり、羽立町内の屋敷跡(約7.5反歩)から、4千100mの土を供出。工事にあたっては、羽立町内の人々の徴用への協力(2千200円/日位

の低賃金)によりできたものであり、その事への配慮が必要である。⑪袋小路の解消は、町の施策の柱であり、新た

に袋小路が発生し、緊急活動に支障をきたす。⑫この程、石井浩郎氏が国土交通副大臣に就任した。県の猿田副知事とは旧知の仲。これを機に、アクセス道平面交差延伸に向け、更なる運動の展開を図る絶好の機会。この問題の進展が、中羽立踏切問題も解決に向かう。

以上の事から、中羽立踏切の通行止には反対であり、この事をJR側に申し入れていただきたい。

町長 町としては、当初から“地元住民との合意なくして、冬期通行止には同意できない”と、JR側に伝えていた。今後、羽立町内の人々の意見を再度聞く事となっているので、今出された意見を言っていたきたい。



中羽立踏切 (14区)

各界で活躍し、国・県等での表彰者も、町の表彰式にて紹介し、共に祝ってあげては!

問 本町は、物的な財産は無いが、唯一貴重な財産は“人”である。しかも、各界・各分野で活躍し、国や県での表彰式で、その栄に浴する人が、数多くおられます。しかし、その栄誉を称え、祝った事が無いように思います。町として町条例による表彰式がありますが、その時に共に祝ってあげてはと思います。

町長 国や県の表彰の栄に浴された方々については、町の広報や議会の行政報告等で、その功績を紹介している。町表彰式は、長年にわたり町発展に尽した方々の功績を称え、町表彰条例に基づき表彰しているものです。受賞者の功績に対し、敬意を表わす意味からも、これまで通りの表彰式にしたい。

一般質問

町の食料自給率と 作物の作付けバランスについて



加藤千代美
議員

問 (1) 減反政策

ロシアがウクライナに侵攻したことにより減反政策を見直す時が来ているのではないのでしょうか。米が余っている現状と、国全体で不足している「小麦、トウモロコシ」等を栽培してみるのも一つの方法ではないか。

国では、今後5年間で一度も水を張らない農地は交付金の対象外となつたと報道されています。「町」ではこの報道に対してどのような対策をとるのか。

また、化学肥料の高騰、肥料の品不足等で来年度の栽培が難しいと言う農家もあるようですが、このような事態になった時にどのように対処するの

か。
町長 本町は、国の政策に基づいて政策を行っているので、本町独自で減反政策を見直す考えはありません。また、現在

は小麦やトウモロコシの栽培に本町の土壌や気候が適しているのか調査等を行ったことはありません。収穫後の受入先等の関係もありますので、今後の課題としてとらえてまいりたいと思います。

問 (2) 町の自給率

戦争とか災害が起きたときに問題になるのが、食料の確保であります。この問題は自分達で食べられるものは、自分達でつくり最低限確保する。今現在町の自給率は何パーセントか検討したことがあるか。

米の自給率は達していると思うが、その他のものについて検討したことがあるか。
町長 町独自で自給率を検討したことはございません。災害がおきた時に米については大丈夫だと思いが、野菜、肉、魚については外から調達することになると思います。

は小

中友商事について

問 6月定例議会において、中友商事がジュンサイ栽培から撤退したという報告を受けましたが、何が一番の原因であったのでしょうか。撤退するにあたって町にどのような教訓を残したのかご教示願いたい。

町長 良質な水の安定的な確保ができなかったことが原因である。

また、水量の確保ができれば栽培が可能だと思

八郎潟町環境保全会補助金について

問 令和3年度の八郎潟

町環境保全会の補助金が交付されたが、なぜ令和2年度の補助金が交付されないのか、その理由を説明願いたい。

町長 係争中なので答弁は差し控える。

問 答弁は、差し控えるということなんです、私が思うには、町長は反

問権を行使して、私に質問致しました。議会広報にもでていきます。その中で大切なことは八郎潟環境保全会と八郎潟町広域保全会は、違うということを申しあげています。

そこで令和2年度の八郎潟町環境保全会と令和3年度の八郎潟町環境保全会会長も組織の中味、仕事の内容も変わっていません。なのに何故、令和2年度の八郎潟町環境保全の補助金が凍結されているのか。

町長 係争中なので答弁は差し控える。

問 もう一度確認しますけれども、令和2年度の補助金と令和3年度の補助金、八郎潟町広域保全会の設立問題は、どちらも係争中だということですか。

産業課長 係争は2年だけです。

問 係争は2年度分で広域については、係争中ではないということですか。

産業課長 広域ということとでなく、争っているのは八郎潟町保全会の方です。八郎潟町広域環境保全会ではない。

問

問 八郎潟町環境保全会と八郎潟町広域保全会とふたつの組織があることを理解していますよね。私は一回目の裁判の時に裁判官が八郎潟町広域保全会は、解散していないという立場に立っています。何故かということ

を考えた時八郎潟町広域環境保全会は解散総会を行っていない。こういう状況の中で八郎潟町保全会ができたのです。何故、八郎潟町環境保全会が令和3年度の組織と同じであって、令和2年度の補助金が何故でないのか、係争中だということに問題があるのか。

産業課長 全てからんでいる係争中の事案である。

問 全てからんでいると申したけれど、私が申し上げた八郎潟町広域環境保全会のことからんでいると理解してよろしいか。

産業課長 そのとおりです。

問

一般質問

支援や助成の在り方とは



小柳 聡
議員

長引くコロナ禍で地域経済の疲弊が続いております。今までは飲食需要の減退、会合そのものの減少や様々な行事・イベントに関わる需要の減少というものが主でありました。第7波に関してはそういった需要は回復傾向にあるものの、陽性者や濃厚接触者が増えて営業できないお店や企業が増えてくるのではないかと推測しております。

個人的には想像以上に多くインパクトがありました。経済活動も本格化しているところもあれば、一時期よりは回復傾向にはあるものの、コロナ前の水準にはまだ及ばない業種が多いように感じます。

秋田県の自宅療養者への給付金が無くなること
が決定したことも受け、大きな枠で手が届かない痛みにも目を向けてほしいと思っております。

問 支援策を検討する際に、いろいろな角度から情報を収集し施策を展開してほしい

町長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が配分されると各課に周知し、対応事業の提案を募集して交付対象事業を決定する。最終的に実施計画を提出する際は各課から提案された事業を含め国や県の施策に鑑みて本町において有益となる事業を交付対象事業としている。

ふるさと納税 返礼品の開拓は

もうすぐ年度を折り返す時期に差し掛かるが、現状ではアイテムが増えないので返礼品の開拓もどのように進んでいるのか見えない。

問 現在の返礼品開拓に向けた動き・進捗状況等は

町長 新たな返礼品の開拓については今いくつかの商品を考えており関係事業者と折衝中の物もあります。返礼品になった場合、継続的な納品が可能であるか、商品に見合った寄付金額の設定が返礼品として受け入れられるものなのか等詰めていく必要がある。

問 運営代行業者に対して事業者の情報はどこまで共有されているか

町長 町内の事業者リストは運営代行業者と共有している。各事業者の情報については定期的に打ち合わせを実施している。

物価高による 給食への影響は

新型コロナウイルスによる経済への影響が続く中、ウクライナ関連で原油高にも歯止めがかからず食料品や日用品の値上げが相次いでいる。

当町としては給食費を全額助成しており、保護者目線では給食費に対する価格設定への関心は低いかもしいないが、現状の単価（小283円、中335円）に合わせるのが困難になってくるのではないかと危惧しております。物価高が進んでいる現状で今後どのように対応していくのかを伺う。

問 原材料費高騰による影響は、また9月10月の値上げにも対応出来る見通しはあるか

教育長 現在は影響ありません、間に合いそうな感じではあります。
問 量や質の低下を招くことなく栄養の担保は摂れるものか

教育長 給食管理システム「カロリーメイク」という献立作成時に利用す

るソフトにより、毎日の献立について必要な栄養価を学年毎に確認しながら進めているので問題ないと思っております。

問 単価設定の見直しも検討してはどうか

教育長 現段階で単価の見直しはしませんが、今後の物価の動きを注視しながら対応していきたい。議員さんが心配されるような他自治体の交付金使用の例もあるが、当町の給食費は中学校では上から3番目の値段で、小学校は10番目ぐらいのランクにある。他の自治体でそれよりも単価の低い所は値上げもしているが、現段階では間に合うと思



9月16日の給食（ハヤシライス）

一般質問

町内会の区域制について



柳田 裕平 議員

4月に行われた令和4年度町内会長会議で、最近では世帯数及び人口の減少は如実に表れており、体育関係行事や子供会行事等の集団的な行事への参加が困難となる事態になっております。

このようなことから、町内会長制の再編が必要な時期に達していると感じているので、ご検討をお願いしますとの発言があったようです。

町当局からは、平成29年に実施した町内会へのアンケート調査結果の中で、見直しが必要でないと答えた町内会が15町内会で、見直しが必要とした町内会が12町内会であったことを引用して、現状を良いとする町内会もある中で町が主導して再編を進めることについては難しいとの説明であったようです。

昭和30年の町村合併か

らの長きに渡る町内会制です。で、いろんな問題点が出てくるのは当然のことです。

行政運営の柱となるべき町内会制ですが、いろんな面で格差が広がっているのも現実であります。まずは、町当局として町内会制の現状把握に努め、そして短期的な対応策と中長期的な施策を検討する体制を整える必要があると考えますがどうでしょうか。

問 なぜ町主導での取り組みは難しいのでしょうか。

「必要である」と「必要でない」の両立は難しいかも知れません。

しかしながら、行政の立場からすれば、双方から理解を得られるような妥協案を検討するのが先決であると考えますがどうでしょうか。

町長 町内会活動の活性化、役員の成り手がいないなど、様々な悩みを抱えている町内会があることは承知しております。

町が主導して再編を進めるにしても、それぞれ

の町内会の意見が対立することが予想されます。

合併体制やルールづくりなど、いろんなことを決めるにしても各町内会との関係が重要と考えております。

また、現在のところ順調に活動をしている町内会の反応も心配されます。このようなことから、町主導での取り組みは難しいということを理解していただきたい。

問 第6次基本計画・実施計画ではどのように。

この町内会の再編については、私も過去に何度か一般質問で取り上げたことがあります。

その時の町長答弁では、平成28年度からの第6次基本計画・実施計画の中で、検討すべきであると書かれておりました。

その計画協議の過程ではどのように話し合われたのでしょうか。

町長 計画には町民と行政が協働してのまちづくりを掲げており、住民や各種団体などの協力も仰ぎながら進めて参ります。ただ、なかなか名案が

出ないことについては申し訳なく思っております。

問 新たに調査特別懇談会を設置してはどうか。

平成3年度での行政区調査特別懇談会の答申では、1行政区当たりの戸数は50戸〜70戸が適当、名称は地域に合った名称が望ましいとの答申があったようです。

新たな行政区調査特別懇談会を設置して検討する必要がありますと考えますがどうでしょうか。

町長 町内会の合併については、来年度の町内会長会議で議題として取り上げたいと考えております。



町内会長会議の様子

一般質問

八郎瀉町脱炭素型社会構築事業について



金 一義
議員

問 旧八郎瀉小学校敷地にイチゴ栽培にもみ殻ボイラー使用について。

6月議会でも、この問題を質問しましたが、もみ殻の燃焼時に燃焼灰中に生成される結晶性シリカによる、肺がん発症のリスクやスス排出などの問題が指摘されており、いま、町で事業を展開しようとする、旧八郎瀉小学校敷地と併用の敷地ですが、すぐ近くに、小・中学校があり、また住宅もあります。ここに我々町民の健康を害してまでもこの計画を遂行されるのか、イチゴ栽培に焼却されるもみ殻の消費量は280トンの使用量です。町民が常により良い環境で、住めるように配慮するのが行政の仕事であると思いますが。

町長 もみ殻バイオマスの本格的なエネルギー利用は全国的にもまだ事例が少なく、実際に事業を実施することとなった場合は、木質バイオマス等類似のエネルギー事業を参考に、法令に則り実施することになります。また、事業を実施する際は、改めて専門家・事業者とも相談、確認のうえ、周辺環境には害を及ぼさない形といたします。なお、基準をクリアできない機械の使用を町で許可する事はありません。

問 イチゴ栽培事業実現と課題解決の方向性について。

コンサルタント作成の報告書に「バイオマスボイラー・ハウス等」の設置への関与方法に町が主体となることにより、補助率が上がるような場合町が主体的に事業に関わることで、初期投資の低減につながり、事業者の積極的な応募が期待できるとありますが、この報告書で示していますが町も事業に出資する考えなのか。

町長 「町はバイオマスボイラー等の設置をしたこととなった場合、補助率

が上がり事業者の初期投資の低減につながる」という報告ですが、町が設置主体になることは想定しておりません。町では旧夢プラン事業などで行っている補助金の協調助成を想定している。

問 公有地・公共施設を中心とした、町内農地を活用した太陽光発電事業の拡大について。

PPA事業（電力販売契約）について、報告書のP47にあります我が町の公有地で太陽光で発電した電力を、PPA事業者と契約することとありますが、この報告書にありますようにこの方針で進めるのでしょうか。この文面にあるように事業者の目安がありますか。

町長 町としては、報告書にあるPPAモデルで進める方針です。実施の有無、実際の事業形態、事業者をどのように選定するか、具体的なものはすべて白紙の状態です。

問 報告書の試算の前提条件で市内（町内）電力使用量が3億4,658万4,000kw/hとなっておりませんが、この数字が適正か説明をしてください。

町長 本当に大変申し訳なく思っています。この電力需要量の数値、これは誤っておりまして、これは完全に総研さんのミ

入です。本町の場合、年間2,063万8,323kw/hと数値がでており訂正します。



旧八郎瀉小学校

将来見通しは!?

決算特別委員会審議

報告者 広報編集委員長

小柳 聡

税務課関係

問 国民健康保険税の収納率が下がった原因は。

答 昨年度から新規の滞納を増やさないよう現年度優先で収納していることが挙げられます。

教育課関係

問 特別支援学級間仕切撤去工事については学級数や人数の増減により、その都度工事を要するの

か。
答 2年度は対象児童が増えたことにより間仕切

りを設置したが、3年度は対象児童が減ったことにより、今後の利便性も考慮して撤去したものです。

問 学校給食助成金について、食材等の価格が高騰している中で、給食費を上げなくても運営できている理由は。

答 食材に関しては地元農家等のご協力により、地産地消で安定・安価に確保できている。今後も価格の高騰が続くようであれば値上げの検討も必要になってくると思われます。

建設課関係

問 ふれあいロード下にJRの架線があるが、JRでない民間業者で施工できるのか。

答 JRと協議して町施工範囲については架線に

影響のない範囲とし、施工時には列車見張員等を配置し安全管理を行うこととしました。

問 除雪関連で堆雪場の土地借用について、空き家所有者にお願いする等、堆雪場を増やせれば除雪作業がスムーズになるのではないか。

答 堆雪場を増やすことについては除雪会議でも話があり、例えば冬季に使用しない公園の出入り口を改良して堆雪場として利用できるか検討し、

オペレーターに聞き取り等をしている段階です。

総務課関係

問 役場新庁舎建設事業について、建設に係る財源の大部分が地方債となっているが、将来の公債費の推移や財政状況はどのような見通しか。

答 令和3年度の起債額は約8億2千万と過去最大となっています。公債費については令和3年度、令和4年度の約3億7千万をピークに徐々に



総括審議



ふれあいロード（現地視察）

大型事業も大詰め!!

減少していく見込みとなつております。また地方債残高も令和4年度以降、年々減少していく見込みであります。

問 普通交付税が増額となつている要因は。

答 12月に追加交付がありました。内訳は臨時経済対策費及び臨時財政対策償還基金費であり、合わせて7千万強の交付となつております。また

令和3年度から2年間のみではあるが地域デジタル社会推進費が交付されております。

町民課関係

問 防犯カメラシステム

機器使用賃借料について、カメラを増やす場合はどのような対応となるか。

答 個人宅の玄関を映さない等、プライバシーの問題をクリアできれば可

能である。商店街であれば店舗の人の出入りの問題等もあります。

産業課関係

問 湖東地区農業用使用

済プラスチック等適正処理負担金の支出は量によって金額が決まっているのか、また農協が農家から集めて農協が負担して処理するのが適当ではないのか。

答 処理量によって決まり、農協が事務局となつて農協に町が負担金を払つております。

福祉課関係

問 ボランティア活動事業費補助金は、災害ボランティアを補完するものか。

答 現段階では災害ボランティアは含まれておりませんが、町から社会福祉協議会へ災害時の対応マニュアル策定をお願いした経緯はあります。



浄水場（現地視察）

保健課関係

問 身元引受人不在者死亡葬祭費用について、どのような経緯があり町で葬祭費を負担したのか。

答 民生委員から相談があり調べたところ、対象者は入院しており先が長くない上、一人暮らしの方で身元引受人がいないうとのことでした。亡くなった際の費用について県では支援できないとのことから、町で葬祭費用を負担することになりました。

問 新型インフルエンザパンデミック対応システム改修業務委託料、ロタウイルス予防接種対応システム改修業務委託料とあるが、こういったシステムでどのくらいの頻度で改修するものか。

答 国のマイナポータル絡みの改修になります。予防接種履歴等をマイナポータルで閲覧可能にするためのシステム改修となります。



各課との審議

(令和4年) 八郎潟町議会9月定例会 提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
承認第5号	令和4年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて	全員賛成承認
議案第30号	八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第31号	八郎潟町町税条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第32号	令和4年度八郎潟町一般会計補正予算(第3号)について	全員賛成可決
議案第33号	令和4年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成可決
議案第34号	令和4年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第35号	令和4年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第36号	令和4年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第37号	令和4年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第4号)について	全員賛成可決
認定第1号	令和3年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数認定 (反対:北嶋賢子)
認定第2号	令和3年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第3号	令和3年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第4号	令和3年度八郎潟町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第5号	令和3年度八郎潟町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第6号	令和3年度八郎潟町上水道特別会計決算認定について	全員賛成認定
報告第6号	令和3年度八郎潟町一般会計等財政健全化審査及び令和3年度八郎潟町水道事業会計経営審査について	
報告第7号	令和3年度八郎潟町一般会計継続費精算報告書について	
報告第8号	令和3年度八郎潟町上水道特別会計予算繰越計算書の報告について	

議決された条例の主な内容

●八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

法律の改正に伴い、一定の非常勤職員に係る育児休業の取得要件の緩和や取得回数制限について改正する。

●八郎潟町町税条例の一部を改正

軽自動車の身体障がい者等の減免を受けようとする者の利便性を図るため、減免申請書の提出期限を「納期限の7日前まで」から「納期限まで」とする。

はちらぼ調査特別委員会



月2回のペースで実施しています

第3回 臨時会 令和4年6月28日開催

議案等

- ・工事請負契約の締結について(八郎潟町立学校長寿命化改良工事) ▶▶ **全員賛成可決**

議会全員協議会 令和4年9月1日開催

- [協議案件] ・9月定例会に提出する議案の主な内容について



みせっこあさみない視察

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

- 補正予算の先決処分の承認 1件
- 条例の一部改正議案 2件
- 補正予算関係議案 3件

◆ 条例の一部改正

問 育児休業を2回取得できるようにするが、期間は年度内か。

答 分割取得について会計任用職員は原則1歳まで、一般職は3歳までの期間で出生後8週間後から2回取得が可能になる。

◆ 補正予算審議

問 この度の豪雨による林道関係の被害は激甚災害とはならないのか、また高岳山の登山道はどうするのか。

答 県全体では激甚災害指定となるが、今回の被災箇所は周りに民家がないため該当とはならない、高岳山については補助事業を活用する方向で県と協議中である。

答 広報で募集した結果、2名のオペレーター追加があり、今回予算計上した研修会の受講対象は新規の方も含めて5名の見込みである。

問 除雪オペレーターの研修費を予算計上しているが、新規オペレーターの応募や受講見込みは。



教育民生 常任委員会

- 補正予算関係議案 4件

◆ 補正予算審議

問 保健センターの自動ドアにどのような不具合があって修繕するのか。

答 保健センター建設後、一度もセンターを更新したことがなく、センサの不具合で開閉がスムーズにいかないことから修繕するものです。

高がありましたのでそれを流用しましたが、立て替えや未払いはありませんでした。

問 民生児童委員活動費補助金について、新たに補助対象となるような活動の追加なのか。

答 当初予算では前年度予算をもとに計上しましたが、このたび補助単価が引き上げられたため追加したものです。

問 スポーツ少年団派遣費補助金に不足額があったようだが、保護者の一時立て替えや未払い金があったものか。

答 ソフトボール部の全国大会出場に伴う派遣費は約60万円、10万円ほど不足になりました。スポ少本部には残

問 マイナポイント事業の機器を国に返却して、新たな機器を購入することだが同じ機器を購入するのか。

答 現在使っている機器の貸与期限が過ぎたことで返却することになります。スマホを所持していない方が、申

問 学童保育の登録は現在何名か。

答 登録児童数は120名ほどおります。その中で通常利用している児童は1日平均で35名ほどとなっております。



私たち 頑張っています!

男子ミニバスケットボール少年団
キャプテン 畠山 大空 (前列右から2番目)

僕たち男子ミニバスケットボール少年団は、部員14名で活動しています。

少ない人数ですが、一人ひとりが目標を持って練習に励んでいます。コートに立つ選手だけでなく、ベンチで声を出してくれるコーチや仲間たち、応援してくれる方々全員で闘っています。

この大好きなチームでバスケットができるのもあと少しです。

みんなと一緒に少しでも長く活動できるよう、11月の地区大会でまた優勝し、全県大会を目指します!

そして、悔いが残らないようなプレーをする為に、仲間を信じてチーム一丸となって頑張ります!!

随時、部員募集中です!



掲載希望団体
募集中
です

- 各種団体のグループ(任意も含)
- スポ少や部活動のチーム
- 特別な成果を挙げた個人等

▼お問い合わせ▼

E-mail : gikai@town.hachirogata.lg.jp
委員長 小柳へ



議会のうごき

7月

- 1日 ウクライナ人道危機救援金贈呈式 (議長 日赤秋田県支部)
- 5日 第2回 はちらぼ調査特別委員会
- 15日 志田千陽選手後援会設立総会 (議長)
- 19日 例月出納検査 (監査委員)
- 20日 第3回 はちらぼ調査特別委員会
- 25日 秋田県町村議会議員研修会
秋田県町村議会議員広報研修会
- 26日~29日 決算審査 (監査委員)
- 28日 第72回南秋田郡連合婦人会大会 (議長)
- 31日 第8回図書館セミナー (議長)

8月

- 1日 秋田県町村電算システム共同事業組合定例会
町村長と町村議会議長との政策研究会 (議長)

- 5日 第4回 はちらぼ調査特別委員会
- 7日 スポ少ソフトボール全国大会結果報告会 (議長)
- 15日 成人式 (議長)
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 25日 第5回 はちらぼ調査特別委員会
- 29日 議会運営委員会
議会広報編集委員会

9月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 第6回 はちらぼ調査特別委員会
- 7日~16日 9月定例会
- 20日 第7回 はちらぼ調査特別委員会
- 21日 例月監査 (監査委員)
- 22日 議会広報編集委員会 (校正)

編集後記

比較的涼しい夏から暑い秋が続き、台風が去ってようやく気温も秋めいてまいりました。異常気象や不安定な天候が明らかに目立つようになり、災害というものがどこか遠い存在だった時代から、災害はいつ起こってもおかしくはない時代変わりつつあることを肌身で感じております。

そのような状況下で7月の一夜市、8月の一日市盆踊り、9月の商店街祭り等がある程度天候に恵まれ、無事に開催できて良かったと思っております。私事ではありますが定例会前後に五城目町議会と三種町議会の傍聴に行ってきました。感じた事はたくさんありますが、どちらも熱心な傍聴者が一定数いることに驚きました。当議会にも関心を持って傍聴に足を運びたいような議論や仕掛けを増やしていきたいと改めて感じました。(小柳)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 小柳 聡
- 副委員長 京極 幸村
- 委員 加藤千代美
- 伊藤 敦朗
- 村井 昇
- 伊藤 秋雄